

投資情報

ウィークリー

2023/11/06



もっと豊かに、ヒューマンライフ。
三津井証券株式会社

商号等 / 三津井証券株式会社
金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第14号
加入協会 / 日本証券業協会

本レポート末尾の「投資にあたっての注意事項」をお読み下さい。

投資情報ウィークリー

2023年11月6日号
調査情報部

相場見通し

■FOMC と今後の米国市場

今回のFOMCでは、前会合に続いて政策金利が据え置かれた。パウエルFRB議長は、次回(12月)会合での利上げに含みを持たせたものの、足元までの長期金利の上昇等により、ここ数カ月の金融状況は顕著に引き締まったと述べている。今後の金融政策はまさに景気次第という感じで、市場では事前予想ほど「タカ派的ではない」との見方が広がった。また、10月ISM製造業景況指数が46.7と3ヵ月ぶりに悪化(ストライキの影響)、10月ADP民間雇用が市場予想を下回る等、弱い経済指標の発表もあった他、四半期定例入札の規模拡大ペースが鈍化したことから、1日の米国債市場は大幅に上昇した。10年債利回りは一時20bp近く低下し4.7%台に入った。こうした金利の急低下で、1日の米株式市場はS&P500が1%、SOX指数が2.33%上昇した。

想定以上に堅調が続いていた米景気。ただ、新型コロナ禍の景気刺激策効果が急速に薄れる中で、金融引き締め、タイトな流動性、議会の混乱(17日につなぎ予算の期限到来)、地政学リスクの高まり、中国やドイツの景況感悪化等の影響を少なからず受けるとみられ、今後は景気減速から後退へのリスクを債券市場は織り込み始める(始めた)可能性がある。FRBの利上げは最終局面(12月が最後の利上げか、或いは7月が最後だった)、来年には利下げに転じると、市場のコンセンサスは再び傾きそうだ。

また、7~9月期の米企業業績は、予想以上に堅調な結果だが、10~12月期以降の見通しに慎重な経営者も増えている。尤も、①クアルコムは10~12月期の売上高見通しは市場予想を大きく上回り、携帯電話の過剰在庫が解消している兆し(アップルの決算発表で確認したい)、②AMDはAI用の新チップの売上高が伸びる見通し、③韓国のサムスン電子はメモリー価格が上昇に転じると予想などと、エレクトロニクス関連で改善期待が高まるニュースも多い。今後の米株価は、企業業績の悪化リスクと、金利低下の恩恵、エレクトロニクスの底打ち期待との綱引きとなれば、グロース株中心に戻りを試す展開が想定される。

■日銀政策決定会合と株価

日銀は10月末の金融政策決定会合で、YCC運用の更なる柔軟化を決定した。従来の±0.5%程度を目途としたレンジをなくし、長期金利の上限は1%を目途と変更し、1%を超える上昇もある程度容認する見通し。そのため、決定会合後の10年債利回りは一時0.9%台半ばまで上昇した。ただ、為替市場では一時1ドル151円台まで円安が進行し、日本株では日経平均が31日に161円高、1日に742円高と続伸した。今回の会合では、投資家、特に海外投資家では、YCCの撤廃、金融正常化に向けた出口戦略(それに伴う円高、株安)への警戒感が強かった。結果は「政策変更の度合い」が想定以下で、ポジションの調整を迫られたのではないだろうか。

■今週の日本株見通し

日経平均は先月末から3日間で1200円強上昇、週末の終値は31949円と13週MA、26週MAの水準にまで迫っている。戻り売り圧力が強まる水準でもある。

こうした中、今週の日本株は決算発表を契機として、見直し買いが入るかが最大の焦点。6日に三菱重工業、JFEHD、7日にNTT、ダイキン任天堂、8日に三井不、9日にソニーG、ソフトバンクG、10日に東京エレクトロなどがある(10日が発表社数のピーク)。

外部環境が不透明であり、稼ぐ力が増しているか。また、東証が「資本コストや株価を意識した

経営の実現に向けた対応」の要請を行っている中（先週の投資情報ウィークリーの1頁目を参照）で、自社株買いや通期配当計画の増額を発表する銘柄が増えるか、今週の決算発表でこの傾向が強まれば、日本株への関心が一段と高まるであろう。

図1は自社株買いを、図2は通期の配当計画を増額した主な銘柄（1日までの発表分）であり、参照されたい。

なお、トヨタは1日に今期会社計画を上方修正、営業利益は前回の3兆円から4.5兆円へと大幅に引き上げた（市場予想を上回る）。為替の恩恵も大きかった（1兆1800億円の増益要因）が、営業面での努力（販売構成の改善、原価低減効果など）も寄与し、同社の稼ぐ力が増している。

（増田 克実）

図1

銘柄	取得上限	
	株式総数(万株)	価額総額(億円)
1878 大東建	400	500
3231 野村不HD	260	70
4204 積水化	400	88
4403 日油	60	30
5214 日電硝	800	200
5333 ガイシ	850	150
5929 三和HD	325	50
6632 JVCKW	450	25
6727 ワコム	1300	65
6806 ヒロ電	70	100
6923 スバル電	500	100
6954 ファナック	625	250
7203 トヨタ	6000	1,000
7282 豊田合	350	100
8031 三井物	1250	500
8601 大和証G	3500	350
8609 岡三	300	20
9532 大ガス	1500	200

Quickデータより証券ジャパン調査情報部が作成

図2

銘柄	予想1株当たり配当(円)	
	前回	今回
9504 中国電	10	30
9201 JAL	40	60
3092 ZOZO	71	98
7282 豊田合	60	76
3116 トヨタ紡織	70	86
4661 OLC	9	11
5334 特殊陶	133	160
2875 東洋水	100	120
4568 第一三共	34	40
8015 豊田通商	214	250
9021 JR西日本	100	115
8031 三井物	150	170
6473 ジェイテク	32	36

Quickデータより証券ジャパン調査情報部が作成

主な決算発表①

銘柄	発表日	通期営業利益予想		通期税引利益予想		上期予想(QC)		
		(会社)	(QC)	(会社)	(QC)	営業利益	税引利益	
1332	ニッスイ	23/11/06	27,000	28,075	21,500	20,900	17,167	
1802	大林組	23/11/06	74,000	78,811	55,000	61,154	24,884	19,656
3401	帝人	23/11/06	35,000	33,013	13,000	12,325	13,077	4,475
3774	I I J	23/11/06	31,500	31,507	20,720	21,124	13,046	8,726
4185	J S R	23/11/06	42,000	35,506	25,000	23,787	5,569	1,880
4203	住友ベ	23/11/06			21,500	22,320		10,550
5411	J F E	23/11/06		284,322	190,000	191,094		89,602
6925	ウシオ電	23/11/06	12,500	12,225	10,000	10,271	4,618	4,016
7011	三菱重	23/11/06			190,000	200,391		96,687
8001	伊藤忠	23/11/06	625,000	664,565	780,000	825,364		424,312
9613	NTTデータ	23/11/06	292,000	295,454	144,000	141,271	126,035	58,927
4208	UBE	23/11/06	30,000	22,650	27,500	22,475	7,409	7,700
9101	郵船	23/11/06	146,000	163,202	220,000	224,688	97,303	149,790
1803	清水建	23/11/07	57,500	59,506	50,000	53,748	17,269	25,790
2784	アルフレッサ	23/11/07	36,000	30,333	24,900	22,700	11,678	8,402
2802	味の素	23/11/07		155,575	95,000	101,785	80,555	49,221
2810	ハウス食G	23/11/07	20,000	19,825	17,500	17,602	7,343	
3407	旭化成	23/11/07	160,000	132,142	100,000	86,623	47,240	22,500
3861	王子HD	23/11/07	100,000	106,300	65,000	69,298	45,270	32,650
4523	エーザイ	23/11/07	50,000	51,845	38,000	39,465	30,749	23,323
5947	リンナイ	23/11/07	39,000	37,086	25,000	24,399	9,989	6,263
6367	ダイキン	23/11/07	400,000	415,842	264,000	280,803	236,293	161,914
6370	栗田工	23/11/07	39,000	39,440	27,000	27,213	17,587	
6448	ブラザー	23/11/07	70,000	70,860	50,000	50,400	36,898	26,271
6674	G Sユアサ	23/11/07	33,000	35,487	14,000	15,927	11,403	4,260
6841	横河電	23/11/07	48,000	50,686	44,000	46,709	25,761	36,400
6845	アズビル	23/11/07	32,000	33,800	23,800	25,008	11,548	9,780
6976	太陽誘電	23/11/07	15,000	17,067	8,000	12,359	4,178	4,551
7013	I H I	23/11/07	-80,000	-20,240	-90,000	-34,500	1,615	-43,344
7269	スズキ	23/11/07	360,000	401,992	210,000	251,654	205,012	132,954
7701	島津	23/11/07	71,000	72,586	53,000	54,746	32,150	25,246
7832	ハンナムHD	23/11/07	125,000	135,923	91,000	98,592	68,964	51,689
7974	任天堂	23/11/07	450,000	538,895	340,000	432,924	280,831	250,807
9142	J R九州	23/11/07	45,700	49,363	40,700	42,403	26,279	29,641
9432	NTT	23/11/07	1,950,000	1,946,258	1,255,000	1,291,151	991,856	713,003
9684	スクエニHD	23/11/07	55,000	46,156	38,500	34,912	16,748	15,289
3289	東急不HD	23/11/07	112,000	114,226	62,000	63,519	55,351	34,399
4689	ラインヤフー	23/11/07		197,202		111,269	104,979	62,301
6417	SANKYO	23/11/07	59,500	69,509	41,500	48,777	34,666	22,190
7261	マツダ	23/11/07	180,000	213,439	130,000	164,229	100,214	84,696
3402	東レ	23/11/08		114,107	76,000	76,918	48,074	32,012
4182	菱ガス化	23/11/08	46,000	42,475	47,000	45,988	16,604	23,167
4183	三井化学	23/11/08	115,000	109,274	84,000	77,610	37,157	24,433
4901	富士フイルム	23/11/08	290,000	290,513	225,000	228,824	122,479	110,099
5020	ENEOS	23/11/08	340,000	424,767	180,000	233,617	262,853	142,915
5021	コスモHD	23/11/08	123,500	138,300	55,000	65,850	73,676	27,626
5803	フジクラ	23/11/08	60,000	62,401	41,000	42,490	27,937	21,566
6098	リクルート	23/11/08		404,445		308,614	236,837	183,540
6383	ダイフク	23/11/08	54,500	56,707	40,500	41,739	22,449	17,634
6460	セガサミー	23/11/08	55,000	69,358	40,000	48,522	40,256	31,330
6869	シスメックス	23/11/08	83,000	81,948	52,000	52,795	35,817	24,714
7012	川重	23/11/08		81,000	47,000	53,780		29,289
7752	リコー	23/11/08	70,000	78,073	50,000	54,954	27,017	21,251
8801	三井不	23/11/08	330,000	335,810	210,000	217,138	160,189	119,475
9005	東急	23/11/08	78,000	78,901	45,000	47,377	46,338	33,063

証券ジャパン調査情報部作成。単位百万円。空欄はデータなし。

予定が変わることがあります。業績予想は10月31日現在。

主な決算発表②

銘柄	発表日	通期営業利益予想		通期税引利益予想		上期予想(QC)		
		(会社)	(QC)	(会社)	(QC)	営業利益	税引利益	
9434	SB	23/11/08	780,000	815,892	420,000	439,462	485,008	279,286
5713	住友航	23/11/08			53,000	59,461		38,644
1721	コムシスHD	23/11/09	34,000	35,520	23,000	24,300	10,813	7,267
1963	日揮HD	23/11/09	38,000	41,100	32,000	33,964	20,429	18,649
2264	森永乳	23/11/09	27,000	25,700	61,700	30,950	18,834	58,783
2269	明治HD	23/11/09	78,000	82,778	51,000	54,267	40,586	24,343
2531	宝HD	23/11/09	26,300	27,650	15,000	14,950		
2897	日清食HD	23/11/09	57,500	67,934	42,500	49,171	38,303	26,231
3107	ダイワボHD	23/11/09	30,700	31,833	20,420	22,347	12,549	
3291	飯田GHD	23/11/09	109,000	101,100	70,000	66,940	44,275	28,375
4088	エアウォータ	23/11/09	72,000	66,300	44,000	42,725	27,047	16,500
4118	カネカ	23/11/09	42,000	37,883	27,000	24,173	14,978	10,849
4613	関西ペ	23/11/09	42,000	45,350	55,000	60,000	23,493	44,700
5233	太平洋セメ	23/11/09	58,000	55,957	40,000	39,098	17,277	13,900
5406	神戸鋼	23/11/09	165,000	157,171	120,000	115,707	80,013	67,976
5711	三菱マ	23/11/09	50,000	41,766	41,000	36,773	12,430	13,009
5801	古河電	23/11/09	24,000	17,461	13,000	10,500	-388	-231
6113	アマダ	23/11/09	50,000	53,260	34,500	37,263	27,518	21,265
6758	ソニーG	23/11/09	1,170,000	1,211,560	860,000	905,588	566,405	444,237
7731	ニコン	23/11/09	43,000	44,929	35,000	35,870	14,665	12,575
7733	オリンパス	23/11/09	163,000	125,126	336,000	264,032	22,663	240,777
8086	ニプロ	23/11/09	24,000	28,800	11,200	16,400	12,937	
8088	岩谷産	23/11/09	45,000	45,600	33,500	33,967	18,512	14,972
8331	千葉銀	23/11/09			61,000	64,927		34,679
8802	菱地所	23/11/09	264,000	269,625	166,000	170,911	109,686	62,862
9024	西武HD	23/11/09	41,000	39,333	34,000	26,800	29,602	21,500
9616	共立メンテ	23/11/09	10,000	13,017	6,100	8,194	7,750	4,850
9735	セコム	23/11/09	132,200	139,102	86,100	93,273	61,745	49,201
9984	SBG	23/11/09				630,645		-38,228
1893	五洋建	23/11/09	34,000	34,129	22,000	22,957	13,770	9,700
7201	日産自	23/11/09	550,000	578,199	340,000	363,973	285,537	199,419
7267	ホンダ	23/11/09	1,000,000	1,253,292	800,000	982,635	744,488	628,916
7202	いすゞ	23/11/10	260,000	282,100	155,000	169,075	135,888	86,389
1808	長谷工	23/11/10	88,000	88,854	55,500	57,802	41,910	27,379
1925	ハウス	23/11/10	380,000	393,989	250,000	266,800	185,579	137,501
2181	パーソルHD	23/11/10	54,500	56,180	33,500	34,931	29,701	19,500
3099	三越伊勢丹	23/11/10	38,000	42,151	30,000	32,371	17,503	14,383
3360	シッパHD	23/11/10	24,000	24,533	13,500	14,580	9,157	5,568
4021	日産化	23/11/10	54,700	55,344	41,500	42,432	26,911	21,118
4401	ADEKA	23/11/10	36,000	35,520	21,000	21,000	13,641	8,200
4527	ロート	23/11/10	37,000	40,805	27,500	30,550	20,894	16,310
6951	日電子	23/11/10	21,000	22,260	15,500	16,942	4,507	4,073
7186	コンコルディ	23/11/10			63,000	64,900		35,350
7550	ゼンショHD	23/11/10	40,090	39,733	23,003	23,333	21,800	13,820
7912	大日印	23/11/10	67,000	69,500	88,000	79,433	25,582	
8035	東エレクト	23/11/10	393,000	404,742	300,000	307,297	181,816	140,960
8308	りそなHD	23/11/10			150,000	153,552		77,872
8377	ほくほくFG	23/11/10			17,000	20,000		
8593	三菱HCキャ	23/11/10		161,500	120,000	124,700		
8830	住友不	23/11/10	255,000	256,909	175,000	176,565	141,172	97,230
9076	セイノーHD	23/11/10	27,320	28,060	17,800	19,340	12,393	
9364	上組	23/11/10	31,000	31,475	23,500	24,050	15,157	
9843	ニトリHD	23/11/10	145,100	133,831	100,000	92,211	63,453	45,045
2201	森永	23/11/10	17,300	18,305	12,200	12,798	13,060	9,271
5714	DOWA	23/11/10	23,000	24,743	20,000	21,787	11,382	11,577

証券ジャパン調査情報部作成。単位百万円。空欄はデータなし。

予定が変わることがあります。業績予想は10月31日現在。

投資のヒント

☆株価が5日・25日・13週・26週MAの上位で対TOPIXβ(90日)が1以上の主な銘柄群

日経平均は11月1日に、700円を超える上昇幅で13営業日ぶりに終値で25日移動平均線を上回り、翌2日も続伸して一時32000円台に乗せてきた。中期トレンドを見る週足では先週に13週・26週の2本のMAがデッドクロスを形成し、上値を抑えられる展開になっているが、個別では両MAに対する上方カイ離銘柄が多数存在している。下表には、週足だけではなく、日足でも5日・25日の両MAの上位に位置し、TOPIXの変動率以上に値動きが大きい、対TOPIXβ(90日)が1倍以上の主な銘柄群を掲載した。信用・貸借倍率が1倍未満の銘柄も散見され、中期スタンスで注目したい。(野坂 晃一)

表. TOPIX1000採用で株価が5日・25日・13週・26週MAの上位で対TOPIXβ(90日)が1以上の主な銘柄群

コード	銘柄	株価(円)	予想PER(倍)	実績PER(倍)	配当利回り(%)	予想経常利益伸率(%)	信用倍率(倍)	貸借倍率(倍)	5日カイ離率(%)	25日カイ離率(%)	13週カイ離率(%)	26週カイ離率(%)	β値(TOPIX・90日)
6201	豊田織	11715	16.1	0.73	1.7	16	9.04	0.73	6.19	3.88	5.82	13.88	1.7
6920	レーザーテック	27180	52.1	23.27	0.67	0.5	1.38	0.03	5.98	8.03	15.48	21.99	1.7
7282	豊田合	3192	10.5	0.83	2.38	67	9.74	49.66	5.8	4.23	2.31	12.13	1.61
8601	大和	947.7	19.2	0.89	3.58	15	3.84	0.34	8.78	9.57	11.21	21.78	1.51
6762	TDK	5789	20.9	1.41	2	-10.3	2.34	0.08	3.4	3.92	6.74	7.65	1.5
7735	スクリン	7441	11.7	2.23	2.56	11.1	5.35	6.2	3.55	1.62	2.34	0.8	1.47
5471	大同特鋼	6268	8.3	0.68	3.66	0.8	2.78	0.18	6.5	5.8	3.86	7.19	1.46
7259	アイシン	5487	10.5	0.75	3.09	211.9	2.92	0.75	2.23	0.57	5.18	15.6	1.46
7203	トヨタ	2712	14.2	1.2	2.28	51.3	5.65	0.75	3.44	2.73	4.27	13.57	1.43
3116	トヨタ紡織	2727.5	8.6	1.15	3.15	72.1	0.6	0.5	5.44	4.01	1.69	6.49	1.41
8830	住友不	3879	10.5	0.97	1.52	5.6	2.82	0.83	3.69	3.22	1.99	5.65	1.4
8058	三菱商	7195	10.8	1.18	2.77	-22.6	4.58	2.9	2.68	2.36	0.34	5.22	1.36
6503	三菱電	1921	15.5	1.18	2.08	21.5	5.2	6.36	9.39	7.54	4.52	1.66	1.33
8424	芙蓉リース	12465	8.7	0.99	3.12	7.2	7.68	6.11	3.79	5.2	3.3	9.2	1.31
6981	村田製	2747	23	2.05	1.82	-	8.48	8.57	7.72	3.42	2.28	1.44	1.3
8593	三菱HCキャ	1004.5	12	0.9	3.68	2.7	23.54	5.6	2.26	2.31	2.78	11.42	1.28
8253	クレセゾン	2293	7.7	0.61	3.48	14.7	5.29	0.29	3.41	1.54	0.54	4.83	1.28
4188	三菱ケミG	931.9	13.6	0.79	3.43	56.6	6.86	0.16	7.87	4.32	3.96	8.19	1.28
9504	中国電	1051.5	3.4	0.64	2.85	-	11.54	0.26	8.64	13.56	10.41	13.11	1.28
6501	日立	9642	17.1	1.64	1.6	-10.4	4.38	13.23	4.57	6.29	3	7.2	1.26
7911	TOPPAN	3542	26.4	0.82	1.35	-5.1	2.3	0.83	3.57	4.15	1.88	8.18	1.24
5334	特殊陶	3415	8.5	1.12	4.68	24.2	8.34	5.15	4.81	4.14	2.22	11.32	1.21
4307	野村総研	4090	29.6	6.14	1.22	8.8	2.73	0.83	5.76	6.17	2.07	4.62	1.21
1605	INPEX	2221.5	8.9	0.75	3.33	-20	5.52	0.54	1.91	3.57	3.83	17.97	1.2
7269	スズキ	5951	13.6	1.26	1.68	-3.3	4.21	11	2.06	1.52	2.98	9.58	1.2
3659	ネクソン	2815	22.7	2.48	0.35	-0.4	1.76	0.2	6.51	7.92	2.8	1.44	1.19
8801	三井不	3345	14.8	1.02	2.03	-7.7	2.19	0.56	3.11	1.85	2.53	10.38	1.18
5444	大和工	7457	7.5	0.94	4.02	-0.5	46.46	43	5.5	5.79	4.82	13.88	1.16
5020	ENEOS	568.5	9.5	0.58	3.86	20.4	8.67	53.41	2.22	2.11	0.95	8.03	1.16
4202	ダイセル	1311	8.5	1.17	3.35	5.7	5.7	1.11	2.1	5.62	5.57	5.93	1.15
5929	三和HD	2079	11.4	1.68	2.78	11.8	1.55	3.25	3.42	4.78	0.52	8.23	1.15
8802	菱地所	1953.5	14.9	1.14	2.04	-14.6	8.17	0.52	2.11	0.04	1.62	8.27	1.15
5423	東京製鉄	1740	7.8	0.98	2.87	-4.5	2.93	0.4	2.38	4.68	3.31	12.22	1.14
5344	MARUWA	26880	22.1	3.27	0.31	-0.9	0.91	0	7.07	14.63	7.67	17.16	1.12
5711	三菱マ	2450	7.8	0.52	3.83	129.2	22.39	8.9	2.36	2.93	1.15	0.15	1.11
4004	レゾナック	2484	-	0.82	2.61	-	2.4	0.11	1.84	0.4	2.37	6.5	1.11
4063	信越化	4616	17.7	2.18	2.16	-25.5	9.79	4.98	4.47	5.71	2.67	2.51	1.11
4091	日本酸素HD	4011	17.8	2.03	0.99	31.7	1.11	0.13	6.26	9.89	11.88	20.8	1.11
5019	出光興産	3462	9.7	0.59	3.46	-53.3	21.99	53	1.88	4.55	5.34	12.45	1.09
6770	アルプスアル	1247	12.8	0.6	3.2	-4.1	3.76	0.51	2.71	0.21	0.88	0.98	1.09
8697	日本取引所	3064	29.5	4.95	2.05	12.9	1.77	0.38	4.12	5.37	11.8	19.13	1.09
9009	京成	5950	26.3	2.39	0.43	76.4	1.9	0.1	6.15	11.78	7.68	6.75	1.09
5105	TOYO	2276	6.3	0.96	3.42	19.5	8.85	0.45	1.59	0.81	2.57	12.48	1.08
7180	九州FG	986.6	16.4	0.63	1.82	3.9	12.94	3.24	6.56	15.58	24.72	43.4	1.08
7550	ゼンショーHD	8156	53.4	9.73	0.49	33.2	0.25	0.01	4.7	15.54	17.71	23.92	1.07
9301	三菱倉	4265	12	0.87	2.57	-15.1	0.71	0.27	7.32	8.55	8.43	14.7	1.05
7912	大日印	4014	11.4	0.92	1.59	-6.8	2.44	1.56	2.75	3.29	2.01	1.19	1.03
7984	コクヨ	2376.5	14.7	1.08	2.73	18	4.2	1.31	2.2	1.43	2.37	10.2	1.02
9508	九州電	1005.5	3.7	0.99	1.98	-	38.32	2.61	3.94	4.91	3.57	7.64	1.01
1925	ハウス	4229	11.1	1.2	3.19	-22.4	2.17	0.42	3.13	5.11	4.68	9.52	1
4519	中外菓	4626	24.7	4.95	1.72	-20.7	1.61	0.28	4.04	2.11	3.97	10.14	1

※指標は11/2時点、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

参考銘柄

3549 クスリのアオキ HD

北信越を地盤に東北、関東、東海、関西に展開する中堅ドラッグストアで、調剤薬局併設店がおよそ6割弱を占める。前期末の店舗数は903店舗だが、新規出店90店舗のうち61店舗が新規エリア（北信越以外）への出店。11月21日付で1株を3株に分割予定。

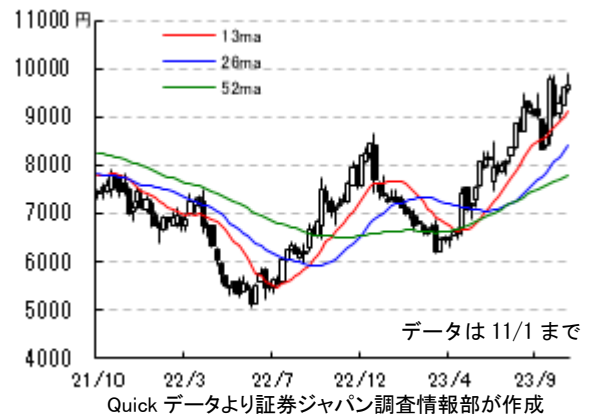
24年5月期第1四半期(5月21日～8月20日)業績は売上高が前年同期比17.1%増の1074.3億円、営業利益が同48.8%増の66.6億円となった。地域のかかりつけ薬局として、調剤薬局併設率の向上を図ったほか、生鮮食品等の品ぞろえを強化し、「フード&ドラッグ」を実現して、利便性向上に努めた。また、今年8月から「クスリのアオキ公式アプリ」でTポイントが「貯まる、使える」サービスを開始した。ドミナント展開を加速する中で、この第1四半期には北信越に5店舗、東北に1店舗、関東に1店舗、関西に2店舗の計9店舗を新規出店した（閉店は3店舗）。また、ドラッグストア併設の調剤薬局を15薬局開設し、ドラッグストア902店舗（うち調剤薬局併設540店舗）、調剤専門薬局6店舗、スーパーマーケット1店舗の計909店舗となった。今期は70店舗の新規出店（閉店は5店舗）を計画しているほか、併設調剤薬局も70店を予定している。これにより調剤薬局併設率は62%に上昇する見通し。

中間及び通期の計画は据え置かれているが、中間期の営業利益計画に対する第1四半期の進捗率は83.2%に達しており、上振れ余地の大きい保守的な計画といえよう。なお、9月の既存店月次売上高は前年同月比111.4%と好調だ。今後も調剤薬局の増加によって処方箋枚数が増え、粗利の改善が見込まれるほか、スーパーマーケットの買収に力を入れて生鮮食品などの導入を強化することで、「フード&ドラッグ」路線での収益拡大が期待できよう。

決算短信



【週足】

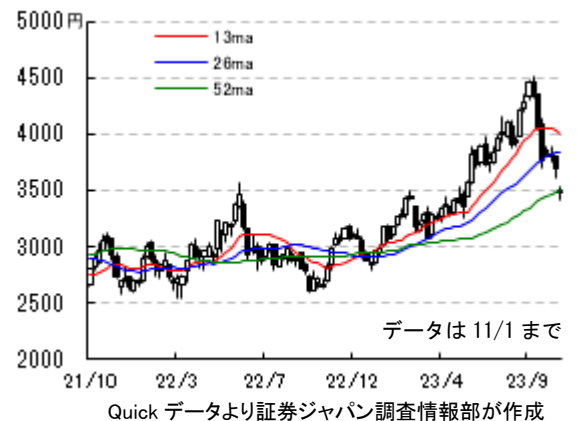


6301 小松製作所

建設機械で世界2位、国内最大手。産業機械や鉱山機械も手掛ける。海外売り上げが9割近い。

24年3月期第2四半期(4～9月)業績は売上高が前年同期比12.6%増の1兆8229.9億円、営業利益が同40.3%増の2969.7億円となった。売上高営業利益率は3.2ポイント上昇して、16.3%となった。主力の建設機械・車両部門は中国とCIS（旧ソ連の独立国家共同体）を除くすべての地域で増加し、特に北米、中南米、オセアニアでの伸びが顕著だった。鉱山機械の需要増や一般機械の販売好調でセグメント収益は同13.4%増収、49.7%増益となった。為替は前年同期の1ドル131.6円、1ユーロ138.1円から1ドル140.3円、1ユーロ152.5円に円安が進み、セグメント売上高で750億円、利益で437億円の押し上げ効果があった。原材料価格の上昇や固定費の増加は価格転嫁で補った。リテールファイナンス部門では円安の

【週足】



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

参考銘柄

影響に加え、金利上昇の影響で、同 14.5%増収、セグメント利益は前年同期に計上した北米の貸倒引当金の戻し入れ益がなくなったことで、同 12.5%減益となった。産業機械部門は自動車産業向けの鍛圧機械・工作機械で大型プレス等の販売増によって、同 1.6%増収となったものの、世界的な半導体需要の減少を受け、好採算のメンテナンスが減少し、同 59.8%減益となった。

通期計画は売上高で従来計画比 2780 億円増の 3 兆 6600 億円(前期比 3.3%増)、営業利益で同じく 570 億円増の 5480 億円(同 11.7%増)に引き上げられた。従来の減収微増益見通しから、増収ニケタ増益見通しに修正された。ただ、修正後の通期計画の営業利益に対する第 2 四半期の進捗率は 54.1%と順調で、前年の 43.1%を大きく上回っている。為替の影響が大きいとはいえ、鉱山機械の好調は来期も続くとの見通しを会社側では示しており、好採算の鉱山機械の伸びが業績をけん引しよう。予想配当利回り 4.06%。

[決算説明会資料](#)



(大谷 正之)

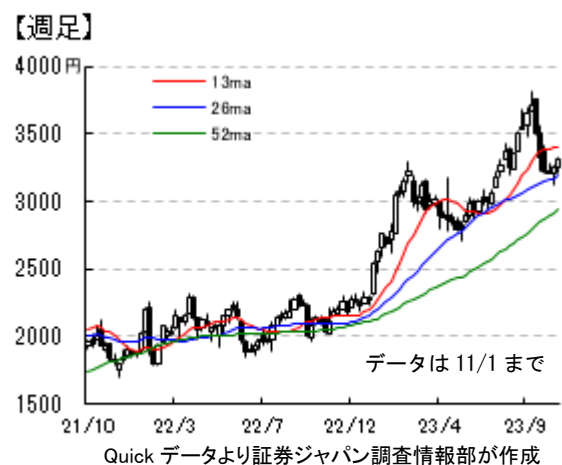
5401 日本製鉄

上期の連結事業利益(ここでは全て在庫評価差等を除いた実力ベース)は 4990 億円と過去最高益(第 1 四半期の計画から 690 億円上振れた)。中国の鋼材市況悪化、国内の鋼材需要の伸び悩み、原材料価格の変動等の非常に厳しい外部環境下でも高水準の利益を確保した。国内製鉄事業での抜本的な構造改革、紐付き価格の価格交渉力アップ、高付加価値製品の拡販などが奏功した。

通期の連結事業利益は 8400 億円と据え置いた。下期は実質下方修正だが、原材料価格の低下等に伴う値下げ、海外鋼材市況の悪化(中国の安値品の輸出増等の要因)の影響を受け、上期からマージンは 1300 億円程度悪化するとみているため。ただ、原材料市況は既に大幅に上昇、それに見合うように鋼材価格は来期に適正価格に回帰する可能性があり、同社にとってのマージン悪化は今下期が最悪期と想定する。

今後は、中国の減産が進むかどうか、中国をはじめとする世界景気の動向、原材料価格の動向がポイントとなるが、今下期の下方修正が限定的だった点、底力、低バリュエーションを評価する。

[IR 資料](#)



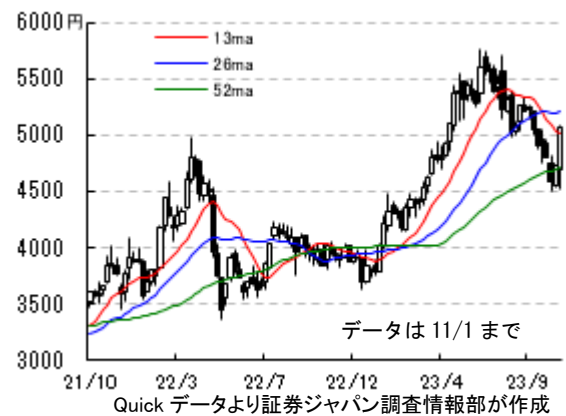
参考銘柄

4661 OLC

上期の営業利益は、前年同期比で約 2 倍の 770 億円だった。第 2 四半期は猛暑の影響で若干伸び悩みが出た模様だが、リオープン効果、インバウンドの増加、40 周年イベント効果、テーマパーク 1 人当り売上増などが寄与した。通期計画を上方修正、売上高は期初計画比+507 億円、営業利益は同+245 億円に。1 人当り売上高の上振れが見込める他、商品・飲食販売の好調持続、ホテルの好調なども寄与する見通し。

また、25 年 3 月期（中期計画）の営業利益目標を従来の 1000 億円以上から 1600 億円レベルへ引き上げた。来年 6 月開業の新エリア効果にも期待される。

【週足】



[IR 資料](#)

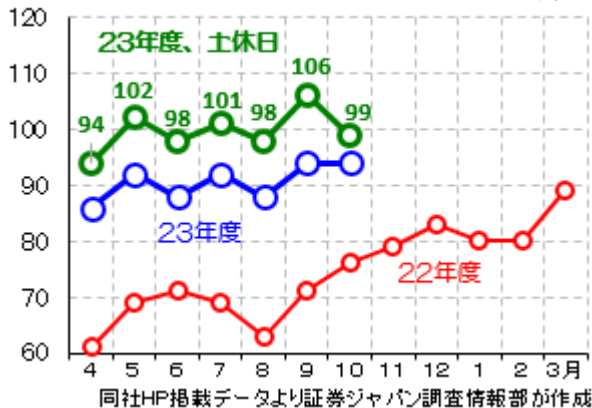


(増田 克実)

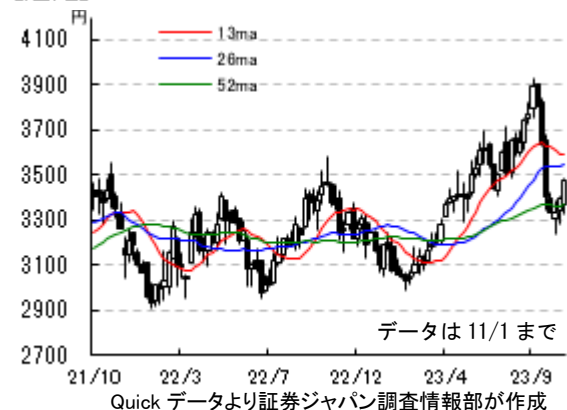
9022 東海旅客鉄道

上半期の営業利益は 3121 億円。新幹線利用状況はコロナ以前の 18 年度に迫る順調な回復を見せ、特に土休日は 18 年度を上回る水準となった。通期計画は前回の 4300 億円から 5020 億円に修正。今回の決算説明では触れられていないが、10 月から実施した「ジャパン・レール・パス」の 50%を超える値上げは、外国人来客数の回復に伴い、下期業績への寄与が大きいと考える。

JR東海 新幹線輸送量の対18年度比較 (%)



【週足】



ジャパン・レール・パス

外国人など海外在住者が、観光を目的として短期滞在資格で日本に入国する場合に購入が可能。新幹線を含む JR グループ 6 社の全線、バス、フェリー、東京モノレールなどが距離や回数の制限なく利用できる。利用期間が 7 日間、14 日間、21 日間、グリーン車と普通車の区別があり、海外からの観光客を誘致する目的で販売料金が低く抑えられていることから、外国人観光客の利用率が高い。

[IR 資料](#)



[ジャパン・レール・パスの価格改定等](#)



[月次利用状況](#)



参考銘柄

7751 キヤノン

第3四半期の営業利益は前年同期比 1.3%増の 2594 億円。中国経済の悪化や、世界的な金融引き締め継続などにより、プリンター関連の需要軟化や競争激化が見られたものの、ネットワークカメラやメディカル等の新規事業の成長、為替の追い風もあり、11 四半期連続の増収を達成。営業利益は、プリンターやカメラで販売投資の増加や、センサー新工場稼働による償却費の増加をコストダウンや円安の効果でカバーした。通期計画は、売上高を 4 兆 2200 億円（前回 4 兆 3630 億円）に引き下げたが、営業利益は 4000 億円台を据え置いたが、イメージングを増額してメディカルを減額するなど、事業別に修正が加えられた。為替は、1 ドル 140.11 円、1 ユーロ 151.13 円を前提。

セグメント別の修正後営業利益計画

- プリンティング事業
プロシューマ向けの減収見込みを受け 2414 億円（前回比 -4 億円）。
- イメージング事業
カメラ事業 新製品の投入や、レンズのラインアップの拡充により底堅い需要の回復を見込む。
ネットワークカメラ事業 監視向けに加え、店舗における動線や顧客層把握などのマーケティング目的や、生産現場における要員配置や工程管理などへも用途が広がっており、増収見込み。
両事業併せて 1562 億円（前回比 +44 億円）。
- メディカル事業
抱えている高い受注残を第 4 四半期に売上に繋げることにより、368 億円（前回比 -38 億円）。
- インダストリアル事業
メモリ低迷により半導体デバイス市場は一時的に縮小するもののメーカーの投資は継続。経済安全保障の点から自国生産を進める動きも加わり、半導体露光装置市場は拡大する見込み。一部の顧客で付帯工事遅延による来年への繰り越しが発生。FPD 露光装置は、パネルメーカーの生産開始時期を後ろ倒しにより 5 台の装置の検収が来年に繰り越し。594 億円（前回比 -14 億円）を見込む。
- その他及び全社
-925 億円（前回比 +18 億円）。
- 消去
-13 億円（前回比 -6 億円）。

合計 4000 億円

[IR 資料](#)

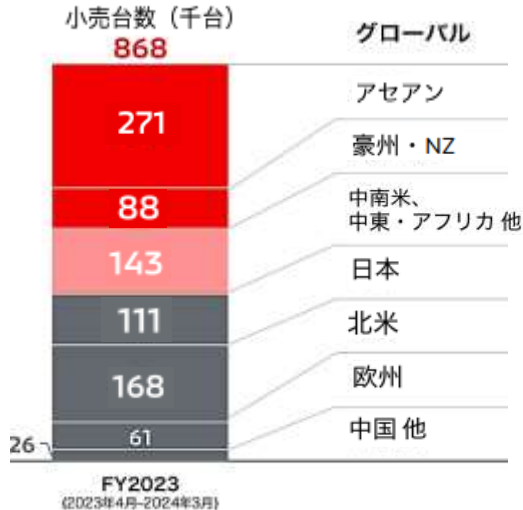


参考銘柄

7211 三菱自動車

上半期の営業利益は、前年同期比 13.1%増の 1042 億円。第 2 四半期（7-9 月）では 590 億円と上伸した。アセアンではフィリピンを除き振るわなかったものの、北米において「アウトランダー」を中心に販売が好調、在庫レベルの改善や保守的な為替前提も寄与した。それらを受け、通期計画は、販売台数を 868 千台に引き下げたものの（前回から-49 千台、主にアセアン向け）、売上高は 2 兆 8500 億円に引き上げ（+700 億円）、営業利益を 2000 億円に上方修正した（+300 億円）。営業利益計画は、期初 1500 億円、7 月 1700 億円に継いで 2 度目の上方修正であり、都度各地域の進捗に鑑みながら、現実的で慎重に見込んでいる印象が強い。前提為替は 1 ドル 139 円、1 ユーロ 152 円。

23 年度販売台数見通し 決算説明資料より



[IR 資料](#)



【週足】



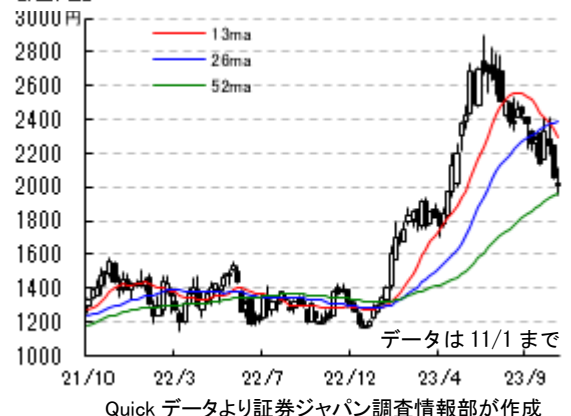
6723 ルネサスエレクトロニクス

第 3 四半期の営業利益は前年同期比 2.9%減の 3185 億円と計画を上振れた。説明会では柴田 CEO が、第 4 四半期については、自動車、産業用は安定しており、PC、モバイルは既に第 2 四半期で底を打ったものの回復基調が緩やか、季節性の落ち込みや米国のストの影響なども考慮すると、スローダウンを見込む旨を説明した。来期の見通しについて新開 CFO は、第 1 四半期の後半から自動車向けの 40 ナノの MCU の増産投資の効果が寄与し、稼働率の上昇を見込むとした。それに加え柴田 CEO は、第 1~2 四半期には AI サーバー向けのパワーステージが立ち上がることから、クラウド向け DDR5 が 2 桁成長の伸びを期待できると示した。また、為替が業績に及ぼす影響について、同社では為替による業績のボラティリティを減らすために為替のヘッジを行っており、水準による損益は見込まず、どちらの方向にも、大きく振れることによる業績へのネガティブインパクトが大きいと説明した。

[IR 資料](#)



【週足】



参考銘柄

4063 信越化学

上半期の営業利益は、前年同期比 28.8%減の 3819 億円。四半期毎の比較では第 1 四半期と第 2 四半期とでは収益がほぼ同水準となった。主力の塩化ビニルが、中国における建設や住宅投資の弱さや、中国メーカーによる輸出圧力が継続して回復が難しい状況下で、さらなる収益の下落が見られなかったことを評価したい。また、電子材料事業では、半導体市場が昨年秋以降の調整局面が継続しているものの、計画通りの出荷や拡販に注力し、収益とも前年同期に並ぶ水準を維持した（売上高、営業利益、-3%）。会社ではウエハー市場は 7-9 月が大底と見ており、今後は、5G、IoT、CASE、VR/AR/metaverse など、半導体用途と市場の拡大に加えて、AI のもたらすデバイス産業の成長に向けて期待が高まるとしている。通期営業利益計画は 7000 億円を据え置いたが、進捗の度合いや市場動向、半導体需要のサイクルなどに鑑みれば上方修正の可能性は高いと考えられ、来期は EUV ブランクスの量産開始による寄与も視野に入れていることから、中・長期的に期待したい。

四半期業績の推移（億円）

決算短信より

【週足】

	2023年3月期					2024年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	上半期
	2022年 4-6月	2022年 7-9月	2022年 10-12月	2023年 1-3月		2023年 4-6月	2023年 7-9月	
売上高	6,567	7,526	7,539	6,455	28,088	5,992	5,967	11,959
生活環境 基礎材料	2,897	3,618	3,571	2,992	13,080	2,404	2,505	4,909
電子材料	2,111	2,282	2,331	2,031	8,756	2,205	2,043	4,248
機能材料	1,251	1,302	1,287	1,092	4,933	1,080	1,074	2,154
加工・商事・ 技術サービス	306	323	347	339	1,316	301	344	646
営業利益	2,496	2,866	2,719	1,899	9,982	1,908	1,910	3,819
生活環境 基礎材料	1,285	1,612	1,496	1,018	5,413	801	851	1,652
電子材料	775	820	837	580	3,014	800	741	1,542
機能材料	367	368	326	244	1,306	256	261	517
加工・商事・ 技術サービス	70	70	68	54	263	54	65	119



IR資料



（東 瑞輝）

タイムテーブルと決算予定 (予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください)

<国内スケジュール>

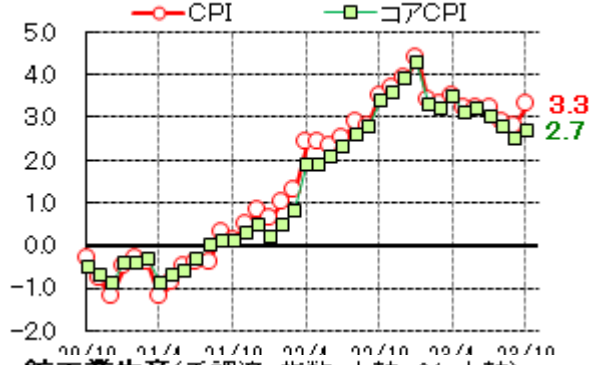
- 11月6日(月)**
9/21、22 の日銀金融政策決定会合議事要旨(8:50)
- 11月7日(火)**
9月家計調査(8:30、総務省)
9月消費動向指数(8:30、総務省)
9月毎月勤労統計(8:30、厚労省)
10月車名別新車販売(11:00、自販連・全軽協)
- 11月8日(水)**
9月景気動向指数(14:00、内閣府)
9月消費活動指数(14:00、日銀)
上場 DAIWA CYCLE<5888>東証グロス
- 11月9日(木)**
9月国際収支(8:50、財務省)
10/30、31 の日銀金融政策決定会合「主な意見」(8:50)
10月企業倒産(13:30)
10月景気ウォッチャー調査(14:00、内閣府)
- 11月10日(金)**
10月マネーストック(8:50、日銀)
オプションSQ算出日

<国内決算>

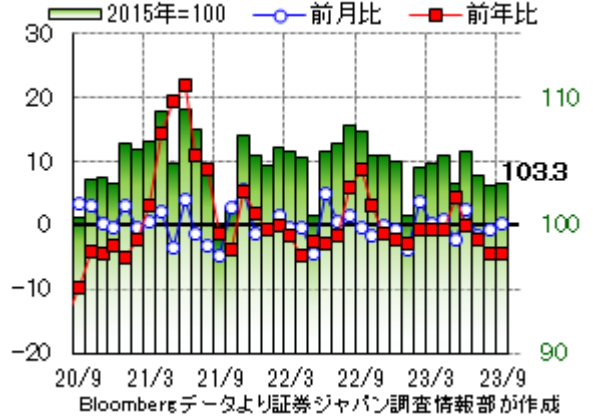
- 11月6日(月)**
12:00~ 【2Q】大林組<1802>、郵船<9101>
13:00~ 【2Q】三菱重<7011>、伊藤忠<8001>
15:00~ 【2Q】味の素<2802>、JSR<4185>、JFE<5411>、京王<9008>、NTTデータG<9613>
- 11月7日(火)**
12:00~ 【2Q】旭化成<3407>、エーザイ<4523>
13:00~ 【2Q】清水建<1803>、王子HD<3861>
14:00~ 【2Q】NTT<9432>
15:00~ 【2Q】東急不HD<3289>、楽天銀行<5838>、ダイキン<6367>、サンケン<6707>、太陽誘電<6976>、IHI<7013>、住信SBI<7163>、マツダ<7261>、スズキ<7269>、島津<7701>、任天堂<7974>、レノバ<9519>
【3Q】、ヤマハ発<7272>、ユニチャーム<8113>
時間未定【2Q】LINEヤフー<4689>、バンダイナム<7832>、スクエニHD<9684>
- 11月8日(水)**
10:00~ 【3Q】麒麟HD<2503>
11:00~ 【2Q】セガサミーHD<6460>、川重<7012>
12:00~ 【2Q】東レ<3402>
13:00~ 【2Q】三井化学<4183>、ENEOS<5020>
15:00~ 【2Q】菱ガス化<4182>、JTOWER<4485>、富士フイルム<4901>、住友鋳<5713>、リクルートHD<6098>、シャープ<6753>、シスメックス<6869>、三井不<8801>、東急<9005>、ソフトバンク<9434>
【3Q】SUMCO<3436>、花王<4452>、クボタ<6326>
16:00~ 【2Q】ダイフク<6383>
- 11月9日(木)**
13:00~ 【2Q】日清食HD<2897>
14:00~ 【2Q】明治HD<2269>、岩谷産<8088>
15:00~ 【2Q】日揮HD<1963>、三菱マ<5711>、芝浦メカ<6590>、ソニーG<6758>、ホンダ<7267>、ニコン<7731>、オリンパス<7733>、菱地所<8802>、セコム<9735>、ソフトバンクG<9984>
【3Q】INPEX<1605>、楽天G<4755>
16:00~ 【2Q】日産自<7201>
- 11月10日(金)**

【参考】直近で発表された主な国内経済指標

東京都部 CPI、コアCPI 前年比(%)



鉱工業生産(季調済、指数:右軸、%:左軸)



タイムテーブルと決算予定 (予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください)

- 14:00～ 【2Q】大和ハウス<1925>
【3Q】横浜ゴム<5101>、ブリヂストン<5108>
- 15:00～ 【1Q】パンパシHD<7532>
【2Q】パーソル<2181>、ミツコシイセタン<3099>、三井金<5706>、コンコルディア<7186>、ゼンショー<7550>、
大日印<7912>、東エレク<8035>、三菱HCキャ<8593>、住友不<8830>、ニトリ<9843>
【3Q】アサヒ<2502>、サントリーBF<2587>、マクドナルド<2702>、SOSE<4565>、資生堂<4911>、アシックス<7936>
- 16:00～ 【2Q】りそなHD<8308>

<海外スケジュール・現地時間>

11月6日(月)

休場 コロンビア(諸聖人の日)

11月7日(火)

米 9月貿易収支

中 10月貿易統計

11月8日(水)

欧 9月ユーロ圏小売売上高

米 9月卸売売上高

ユーログループ財務相会合(ブリュッセル)

11月9日(木)

中 10月消費者物価、卸売物価

米 農産物需給報告

EU財務相理事会(10~13日)(ブリュッセル)

11月10日(金)

英 7~9月期GDP

米 11月ミシガン大消費者景況感指数

米 10月財政収支

11月11日(土)

中国 インターネット通販セール「独身の日」

<海外決算>

11月7日(火)

ウーバー、データドッグ、プロジニー、アカマイ、
イーベイ、ギリアド、デボン・エナジー

11月8日(水)

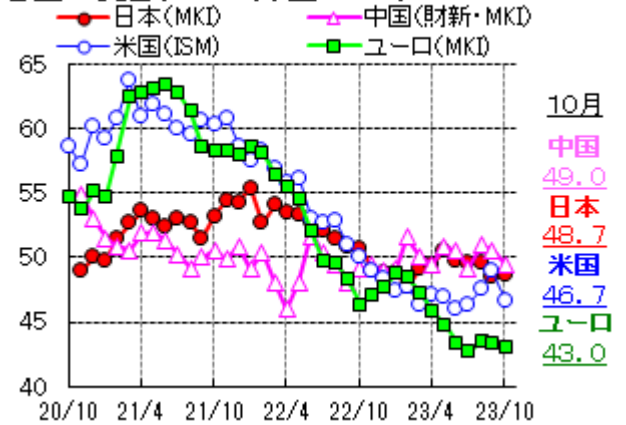
3D システムズ、アンダー・アーマー、バイオジェン、
ディズニー、コルテバ、アーム、アフアーム

11月9日(木)

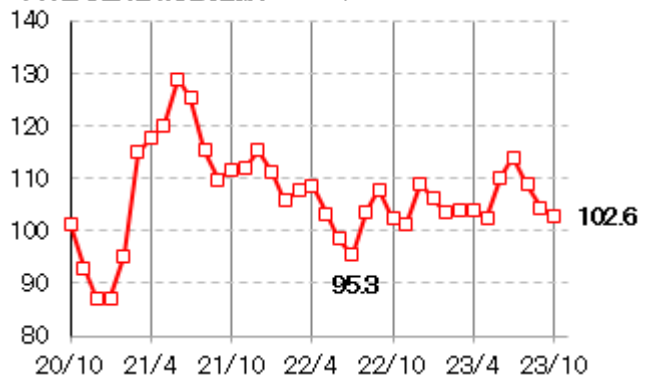
イルミナ、ユニティ、カプリ

【参考】直近で発表された主な海外経済指標

各国の製造業PMI (米国はISM)



米消費者信頼感指数 1985年=100



ミシガン大消費者信頼感指数(速報含む) 1966年=100

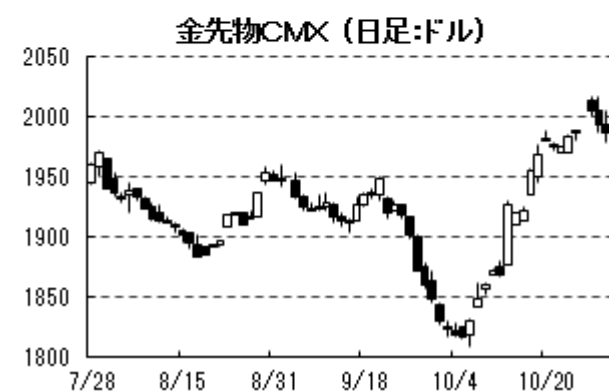
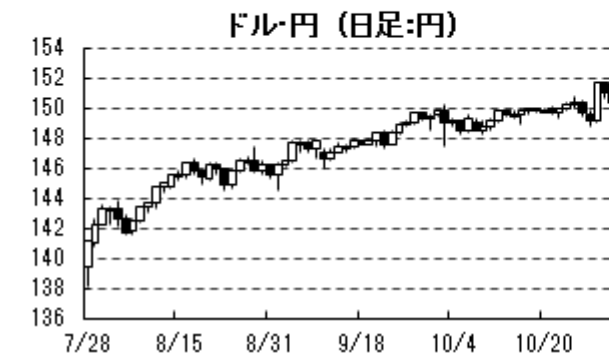
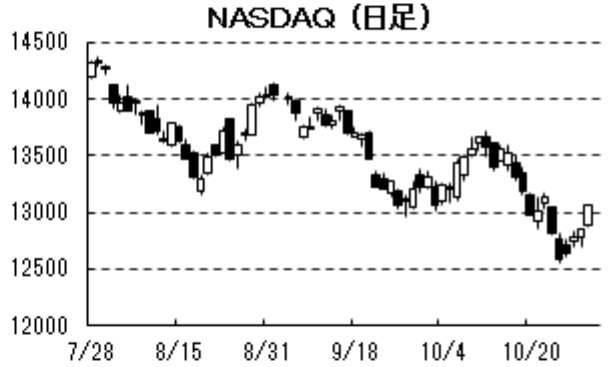
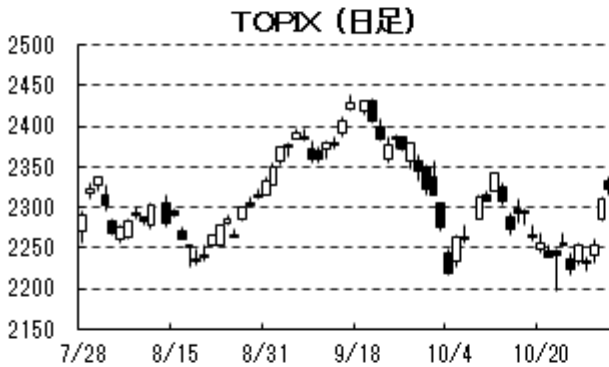
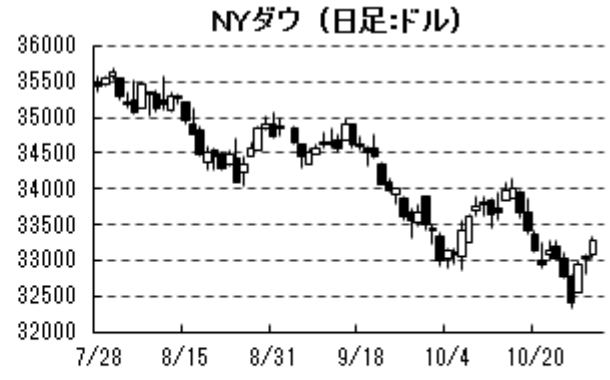


Bloombergデータより証券ジャパン調査情報部が作成

(東 瑞輝)

各種指数の推移 (Bloomberg データより証券ジャパン調査情報部が作成)

11/2 16:09 現在



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

投資にあたっての注意事項

【重要開示事項】

- 本資料は、株式会社証券ジャパン（以下「証券ジャパン」といいます。）調査情報部が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的として作成したものではありません。
- 執筆アナリストは、本資料におけるレポート対象企業の有価証券を保有しておらず、重大な利益相反関係にありません。
- 本資料は証券ジャパンが信頼できると考える情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性および完全性について証券ジャパンが保証するものではありません。
- 本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、証券ジャパンは、理由の如何を問わず責任を負いません。
- 本資料に記載された証券ジャパンの意見ならびに予測は、資料作成時点での証券ジャパンの見通しであり今後予告なしに証券ジャパンの判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツおよび体裁等も証券ジャパンの判断で随時変更することがあります。2023年11月2日現在、金融商品取引所の信用取引の禁止措置等の規制銘柄は当レポートより除外しております。今後、金融商品取引所等により新たな規制が行われる可能性があります。
- 掲載した企業について株価の下落や発行者の信用状況の悪化等により、投資元本を割り込むおそれがあります。銘柄の選択、投資に関する最終決定はお客様自身の判断でなされるようお願いいたします。
- 本資料は証券ジャパンの著作物であり、著作権法によって保護されております。証券ジャパンの事前の承認なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行所住所等 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-2-18
編集発行責任者 増田 克実
商号等 株式会社証券ジャパン
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第170号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

コンプライアンス推進部審査済 2023年11月2日

『金融商品取引法』に係る重要事項について

■ 国内上場投資信託（ETF）のリスク

- リスク要因として「株価変動リスク」・「為替変動リスク」・「カントリーリスク」・「信用リスク」及び「有価証券の貸付等におけるリスク」があります。基準価額の下落や発行者の信用状況の悪化などにより、投資元本を割り込むことがあり、損失を被ることがありますので『契約締結前交付書面（上場有価証券等書面）』をよくお読みください。

■ 国内上場投資信託（ETF）の手数料など諸経費について

- 国内上場投資信託（ETF）の売買取引には、約定代金に対して最大 1.265%（税込み）（217,392 円以下の場合、2,750 円（税込み））の委託手数料が必要となります。
- 国内上場投資信託（ETF）を募集等により購入する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 保護預かり口座管理料は無料です。

■ 国内株式のリスク

- リスク要因として「株価変動リスク」と「発行者の信用リスク」があります。株価の下落や発行者の信用状況の悪化などにより、投資元本を割り込むことがあり、損失を被ることがありますので『契約締結前交付書面（上場有価証券等書面）』をよくお読みください。

■ 国内株式の手数料など諸経費について

- 株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.265%（税込み）（217,392 円以下の場合、2,750 円（税込み））の委託手数料が必要となります。
- 株式を募集等により購入する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 保護預かり口座管理料は無料です。

商 号 等
 加 入 協 会
 当 社 が 契 約 す る 特
 定 第 一 種 金 融 商 品
 取 引 業 務 に 係 る 指
 定 紛 争 解 決 機 関

三津井証券株式会社 金融商品取引業者
 北陸財務局長（金商）第14号
 日本証券業協会
 特定非営利活動法人
 証券金融商品あっせん相談センター

留意事項

この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり、今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。